

年金離れ、加速の恐れ

一橋大学教授 高山 憲之

与党合意（保険料率 18.35% 将来の給付水準 50.1%）に対する識者コメント

共同通信社 2003 年 12 月 16 日配信

年金制度は過去に寛大な給付を約束する一方、負担を先送りしており、そのつけは厚生年金だけで 450 兆円に上っている。

過去の不始末は公費投入によって解決するべきで、保険料を引き上げるのは政策手段が間違っている。のこぎりで紙を切るようなもので、切るべき道具と対象が違うため、うまく切れない。

若者は年金不信をさらに強め、企業も年金離れを加速させるだろう。現在の中高年世代も応分に負担する年金目的消費税の導入を早急に検討する必要がある。